

# 【子育て・教育・生涯学習】

## 第5回審議会に提示した重点項目・継続項目

### 重点項目

- ①未来を見据え、子どもの才能を伸ばす子育て・教育を推進する。
  - 渋谷が目指す人材育成のデザインの提示
  - 乳幼児教育の重点整備(渋谷区版ニューボラ)
  - 先進的教育メソッドの検証と活用
- ②日本のどこよりもダイバーシティ教育を推進する。  
「ダイバーシティを教育する」+「ダイバーシティで教育する」
  - 教育におけるインクルージョンの実現
  - ボランティアを含む多彩な人材の(学校)教育への参画
  - 教員へのダイバーシティ教育の推進
  - フリースクール(オルタナティブスクール)の活性化と支援
- ③全世代にとっての学びの場づくり

### 継続する項目

- ★子育て支援サービスの充実(待機児童問題への対応を含む多様な保育需要への対応推進)
- ★学校教育の充実(新教育大綱に基づく)
- ★学校・家庭・地域の連携(職業体験等)

## 第5回審議会での議論

- ・フィンランドのニューボラのように妊娠、出産から6歳まで切れ目のない総合支援をしてもらいたい。
- ・全国に先駆けてフリースクールを公教育の一環として位置づけてはどうか。
- ・子供の可能性をいかに引き出すか、伸ばすかという視点が大切ではないか。
- ・渋谷に生まれ育った子供たちは全員が愛情を持って育つというような意気込みが表れるようなものにしてもらいたい。

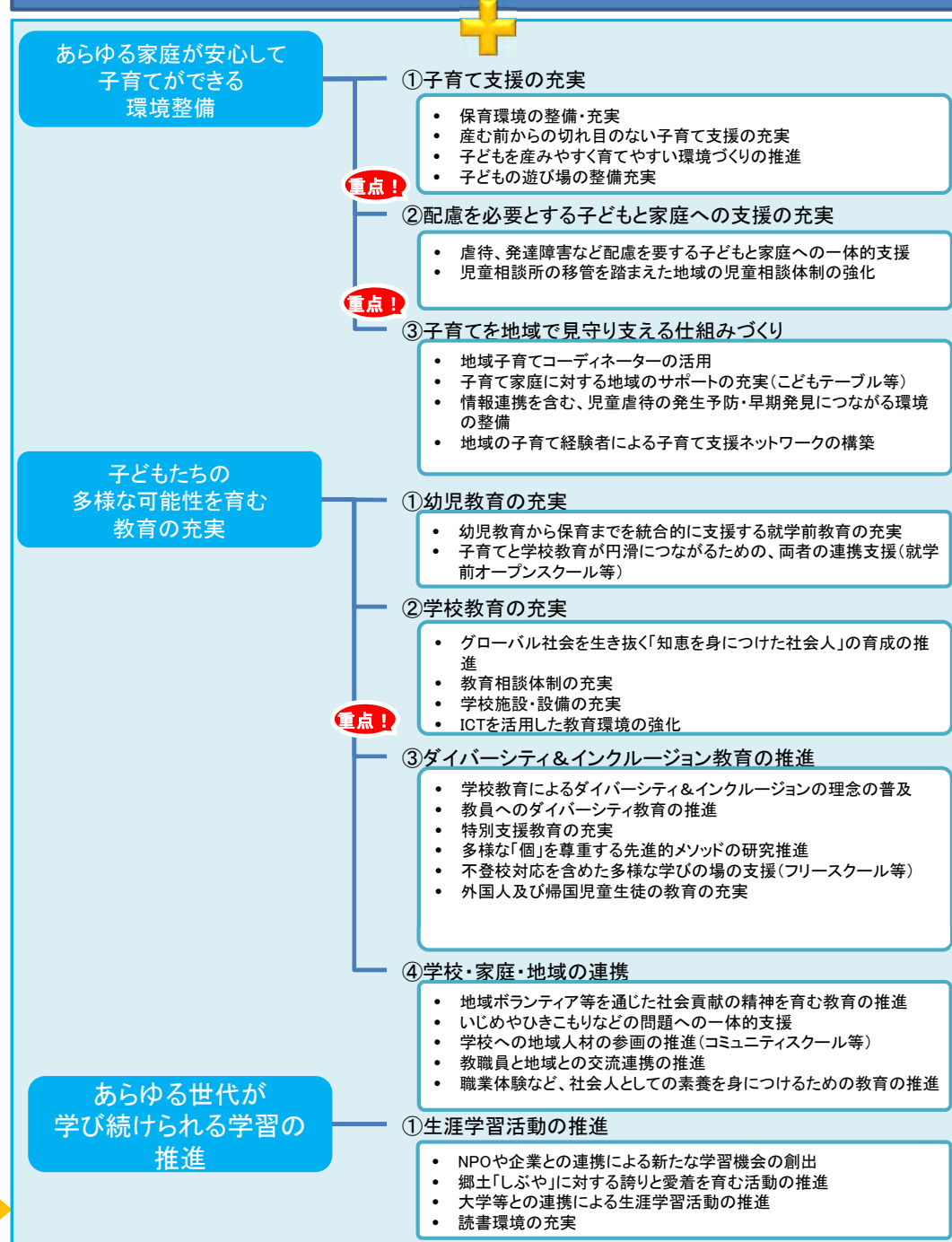
## 基本構想(ビジョン・目指す姿)方向性案

- ・産まれる前から続く切れ目のない子育て支援により、安心して子育てができる環境を整備する
- ・自ら未来を切り拓き、他者と協力して新たな価値観を創造できる人材の育成に取り組む
- ・他者を信頼することで、人間が持つ多様性を理解し、差別されることなく、個性として尊重され自己実現できる教育環境を整備する
- ・教育効果が高い幼児教育において、先進的教育メソッド等を含む「個性の伸長」を目指す教育を推進する
- ・多様化する社会や家族の在り方を見据え、学校だけでない幅広い学びの機会を充実させていく

20年後のビジョンに向けた、  
10年後の長期計画へ体系化

# 長期基本計画カテゴリ別施策体系案

## 【子育て・教育・生涯学習】の目標・基本方針的なもの



# 【福祉】

## 第5回審議会に提示した重点項目・継続項目

### 重点項目

- ①民間企業のノウハウも活用して、「共助ネットワーク」の開発を目的としたコミュニティデザインの提示
  - 孤立防止のための地域ネットワークの構築(高齢者・児童・障害者対応を含めた地域包括ケアシステムの構築)
  - ボランティア教育
- ②福祉の潜在価値を新たに顕在化させるための機会と制度を作る。
  - 例: 超福祉展の展示技術等の新開発の補助器具の導入支援

### 継続する項目

- ★生活支援サービスの充実(在宅サービスの充実等)
- ★家族介護者への支援
- ★ボランティア活動の充実(ボランティア活動活性化のための多面的支援)
- ★福祉人材の育成・確保

## 第5回審議会での議論

- 福祉を起点にしたビジネスを大きくしたいという思いがあるなら、その点を明確に記載したほうがよいのではないかと。
- 重点項目の孤立防止のための地域ネットワークの構築について、既に子ども食堂など孤かな子供を集めて食事をするような活動をやっている団体が多いので、構築という表現よりは、支援、応援という表現のほうがよいのではないかと。
- 民間企業のノウハウも活用して、「共助ネットワーク」の開発を目的としたコミュニティデザインの提示について、実際どういったものを全体的に福祉として作り上げていくのか分かりづらい。
- お年寄りや障害者の方々が、もっと能動的に生きやすい社会・街のほうが渋谷らしい。
- 福祉という語感を超えて、障害者の方や高齢者の方々が生きられる社会づくりという観点が必要ではないかと。

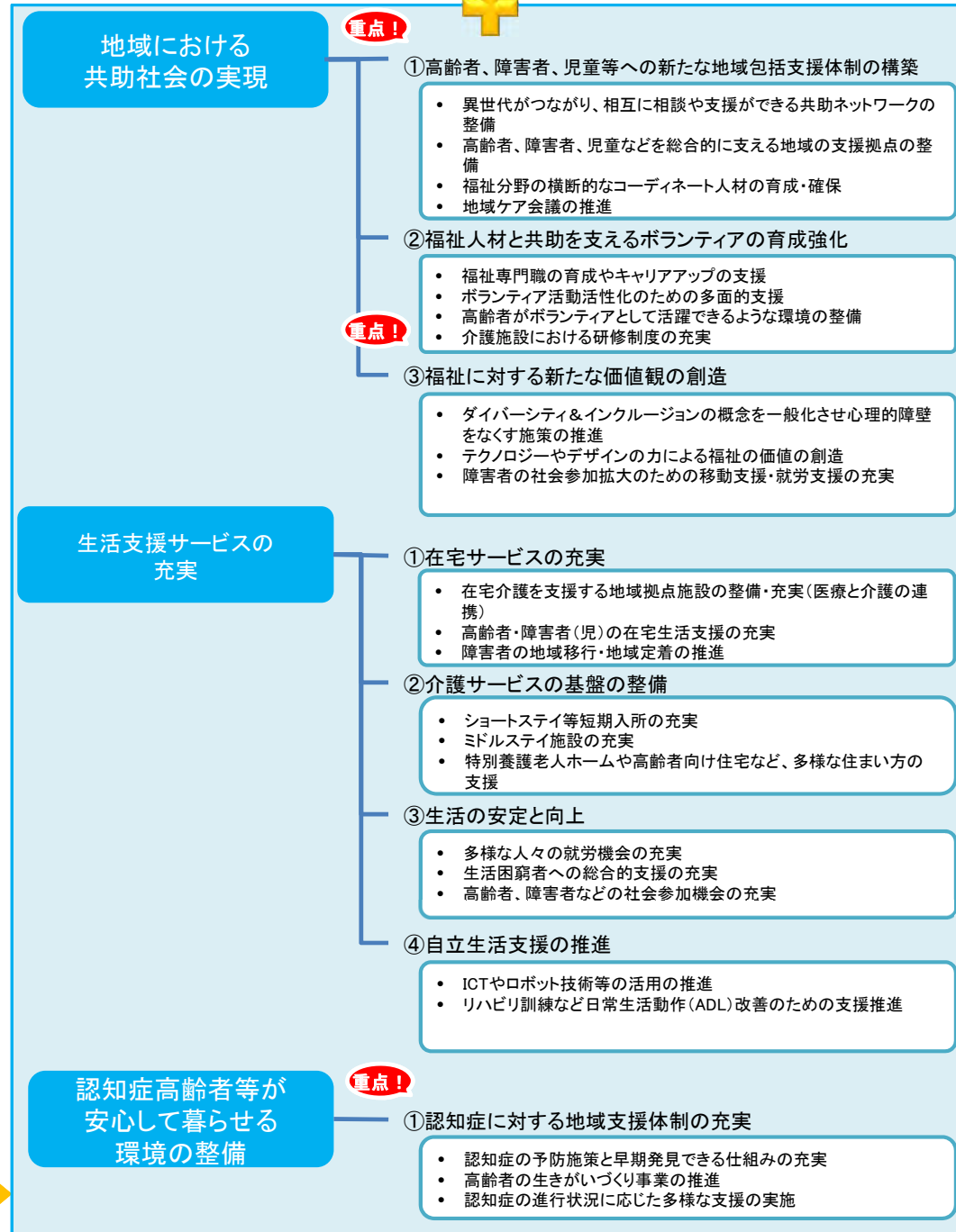
## 基本構想(ビジョン・目指す姿)方向性案

- さまざまな状況にある人を孤立させないよう、共助ネットワークによる人や地域、民間企業等とのつながりを整備・支援する
- 異なる個性の人が、違いを認め合い、お互いの能力を活かしあえるようこころのバリアフリーを推進する
- 誰もが、安心して暮らし続けられるよう支援を充実させる

20年後のビジョンに向けた、10年後の長期計画へ体系化

# 長期基本計画カテゴリ別施策体系案

## 【福祉】の目標・基本方針的なもの



# 【健康・スポーツ】

## 第5回審議会に提示した重点項目・継続項目

### 重点項目

- ①「スポーツ」「健康」「暮らし」が連続的につながり、スポーツ・運動が日々のなかに自然にあることを促進する場づくりと空間活用の推進(スマートウェルネスシティ(SWC)を含む)
  - SWC:環境整備等を通じて生活する人が動きやすくなり、運動を促進する
  - 民間企業と連携し、渋谷区内のあらゆるところでスポーツ・運動を推進する場づくりや場の活用を推進
- ②スポーツの力・祝祭性を分かち合える場を開発する。
  - 特定競技(バスケ等)の地域密着化を促進、スポーツを観る/行う体験を促進
- ③地域保健体制、医療体制のダイバーシティ/国際化
- ④ダイバーシティを活かしたスポーツの進展を促進
  - オリンピック、特にパラリンピックを契機に促進
  - ダイバーシティ対応のスポーツ施設への改修(スポーツセンター改修等)

### 継続する項目

- ★健康づくりの推進(ライフステージ別の健康課題の認識と目標達成のための支援)
- ★地域医療体制の充実(医療・介護連携の充実等)
- ★疾病の予防(健康診査・相談・指導の充実等)

## 第5回審議会での議論

- ・ 妊娠している時からの運動習慣と食事の習慣が生涯残るのではないかな。
- ・ タバコの問題が観点として抜けているのではないかな。
- ・ スポーツという表現よりは、軽くできる運動習慣という表現に変えたほうがよいのではないかな。
- ・ 例えばパラリンピックの選手に公共施設を使ってもらい、それを子供たちが見ること、こころのバリアフリーにつながるのではないかな。
- ・ 渋谷区は子供の遊ぶスペース・環境が少ないので、屋内外の環境整備を進めてほしい。
- ・ 健康・スポーツが渋谷らしさを一番アピールできる部分ではないかな。体を動かすことで疾病予防につながるの、「健康・スポーツ」と「福祉」を一体的に考えることは重要ではないかな。
- ・ 「健康・スポーツ」にICT技術を活用することで、渋谷らしい面白い取組ができるのではないかな。

## 基本構想(ビジョン・目指す姿)方向性案

- ・ 街並みや公共空間を健康の機会として活用し、まちに暮らすこと、まちで過ごすことが、自然と健康につながるような環境を整備する
- ・ 生涯にわたる心身の健康の保持増進を図るため、スポーツが日常生活の中に根付いた明るく活力のある社会を実現する
- ・ 多様なスポーツの振興を通じて、人々がスポーツ選手の卓越性に触れることにより、こころのバリアフリーの促進につなげる

20年後のビジョンに向けた、  
10年後の長期計画へ体系化

# 長期基本計画カテゴリ別施策体系案

## 【健康・スポーツ】の目標・基本方針的なもの

